

綱 領

1. 吾々の労働生活は、社会正義を通じた良識ある労働生活の安定と向上を期す。
2. 吾々は、常に暴力と独裁を排し、自由と健康なる発展を期す。
3. 吾々は、赤十字の民主化と近代化の促進を期す。



平成3年
3月15日
発行
第132号

発行所
日本赤十字新労働組合連合会
(日赤新労)
東京都港区浜松町2-2-14
K Iビル802
TEL (03)3433-3028
発行責任者
窪岡 博

第30回定期全国大会を開催

静岡県湖西市「グランドホテル湖西」・平成3年2月24～26日

平成三年度運動方針・予算決定

要求書・闘争方針も可決される

歴史的な日本赤十字新労働組合連合会第30回定期全国大会が、静岡県湖西市「グランドホテル湖西」に於て、全

国の新労加盟単組より代議員、オブザーバー及び本部役員、顧問等百余名の参加のもとに、盛大に挙行された。

二十四日は、開会宣言の後新編の大会宣言に続き、労働歌『団結がはばらう』を合唱し、新中を斉唱し、大会議長に浦方英二氏(唐津日赤)、副議長に盛山和臣氏(盛岡日赤)、書記に宮尾行雄氏(岡山日赤)の三氏が選出された。続いて青山中央執行委員長が力強い挨拶が行われ、引続き多数の祝電披露の後、本部報告及び単組報告へと移り、途中、来賓として出席された地元浜松赤十字病院院長、益頭尚道氏より祝辞をいただき、第一日は終了した。

の研修会内容について報告され、平成三年度の十項目の調査結果について報告が行われた。婦人部代表者会議の内容が報告され、会議参加者を多数出席させるためには、中央委員会開催時に行うべきかとの意見が報告された。

と回答後、承認された。続いて①会費収入が定額であるのに組合員数で割り切れない。②闘争資金積立金が昨年度と今年度で計算が合わない。この質問に①上納金人数でなかったり、送金手数料を差引いて上納している。②昨年本社集金における預金を解約したと回答。こうした議論の中、代議員より、上納金における手数料の負担を明確にしてほしい。単組負担・組合員

二、平成三年度予算案について
代議員より質問が相つき、次期繰越金の内訳、資金積立金を十一万六千三百円とすること決定された。続いて諸手当の改善事項③④⑤項まで審議し、要求項目⑥の「病気休暇及び長期看護欠勤制度の制定」中、「欠勤」を「休暇」に訂正し可決された。

四、平成三年度闘争方針案について
九項目の闘争方針について原案通り可決された。

五、その他
本部役員及び会計監査・顧問執行委員長より提案理由説明がなされ、要求基準として①定昇給の傷害保険加入について、本

報告

各部報告は、本部担当役員に よって組織、教宣、調査、婦人部の順に活動報告が行われた。(組織部)
二十五日には湖西市商工会館に会場を移し、一部単組報告後、平成三年度の重要方針課題である審議に入り、活発な議論の中二日は終了した。

五施設ほどの内部強化とオラ グ活動を行い、オラ活動は北陸・北海道地域の血液センターを中心に実施してきた。(教宣部)
初心者研修会、単組新入役員研修会、幹部研修会及び四単組

修正が報告された。その中で三十周年記念典典残金は、特別会計で計るべきだ、公的機関で計るべきだとの意見、要望が出された。本部は、残金について中央執行委員会で雑収入に入れた

組合員規約の發送が遅れている事への質問に、本部は早急に措置をするとの回答後承認された。

次に会計収支決算報告及び会計監査報告が行われ、一部数字修正が報告された。その中で三十周年記念典典残金は、特別会計で計るべきだ、公的機関で計るべきだとの意見、要望が出された。本部は、残金について中央執行委員会で雑収入に入れた

組合員規約の發送が遅れている事への質問に、本部は早急に措置をするとの回答後承認された。



活発な討議の行われた第30回定期全国大会



中央執行委員長の挨拶

岡山日赤 青山 圭一

ベルンヤ湾岸戦争がエスカレートし、多国籍軍がクウェート奪還のための地上戦に突入した三月二十四日、日赤新労第三十回定期全国大会が開催され、三日間に亘り審議さ

の経験を生かし、身を引き締めて頑張る所存であります。さて、九一年春闘において、は労働側側、経営者側とどちらも時短を最重要目標とし、年

短を含め週休二日制(まずは四週六休)の実現、定年制の実施等、我々の要求に対し全何かも、支援を頂きますようお願い申し上げます。

- ◎ 実質賃金を獲得し、豊かでゆとりある生活を実現しよう
- ◎ 職員の増員で、働きやすい職場を実現しよう
- ◎ 組織拡大・教宣強化を計り、連帯を強めよう
- ◎ 福利厚生を充実し、組合員のニーズに応えよう
- ◎ 婦人部活動の充実と、調和のとれた職場を築こう
- ◎ 高齢化社会に即応する医療で地域に貢献しよう
- ◎ 天下り人事を排斥し、活力ある職場を築こう



濱松赤十字病院院長、益頭尚道氏

組合員規約の發送が遅れている事への質問に、本部は早急に措置をするとの回答後承認された。

次に会計収支決算報告及び会計監査報告が行われ、一部数字修正が報告された。その中で三十周年記念典典残金は、特別会計で計るべきだ、公的機関で計るべきだとの意見、要望が出された。本部は、残金について中央執行委員会で雑収入に入れた

組合員規約の發送が遅れている事への質問に、本部は早急に措置をするとの回答後承認された。

第30回定期全国大会 浜名湖大会宣言

新労は、美しい入江と半島が連なり、大自然と近代美がみごとに調和する浜名湖畔、グランドホテル湖西において、第三十回定期全国大会を盛大に開催した。
我々は平成三年度運動方針として「実質賃金を獲得し、豊かでゆとりある生活を実現しよう」、「組織拡大・教宣強化を計り、連帯を強めよう」、「福利厚生を充実し、組合員のニーズに応えよう」、「高齢化社会に即応する医療で地域に貢献しよう」、「天下り人事を排斥し、活力ある職場を築こう」の七項目の目標を掲げ、新労の理念を基調とし、全組合員の協力のもと、ゆるぎない意志で団結に努め、要求貫徹に向けて力強く前進することを誓います。
平成三年二月二十六日
右、浜名湖大会宣言とする。
名古屋第二赤十字病院
江上菊代



大会宣言を朗読する江上菊代さん

役員改選

平成三年度新中央執行部は次志(岡山日赤)。
顧問に宮野政夫(新潟血セ)、(岡山日赤)、中央副執行委員 同・川出富治(元名一日赤)、長・藤村貴順(盛岡日赤)、同相談役に高橋利行(福島日赤)、松本晃(鳥取日赤)、中央書 赤、團部順(茨城血セ)の各記長・窪岡博(千葉血セ)、中

大会スローガン

- ◎ 実質賃金を獲得し、豊かでゆとりある生活を実現しよう
- ◎ 職員の増員で、働きやすい職場を実現しよう
- ◎ 組織拡大・教宣強化を計り、連帯を強めよう
- ◎ 福利厚生を充実し、組合員のニーズに応えよう
- ◎ 婦人部活動の充実と、調和のとれた職場を築こう
- ◎ 高齢化社会に即応する医療で地域に貢献しよう
- ◎ 天下り人事を排斥し、活力ある職場を築こう

平成3年度執行部です

中央執役員長

青山 圭一
(岡山日赤)

中央副執行委員長

藤村 貴順
(盛岡日赤)

中央副執行委員長

松本 晃
(鳥取日赤)

中央書記長

宍岡 博
(千葉血七)

中央会計

川崎 隆彦
(茨城血七)

中央執行委員

笠原 広子
(名日赤)

中央執行委員

梅村 正一
(名日赤)



中央執行委員
増井 富雄
(新潟血七)



会計監査委員
樹下 成徳
(大津日赤)



会計監査委員
三折 武志
(岡山日赤)



顧問
宮野 政夫
(新潟血七)



顧問
川出 富治
(元・名日赤)



相談役
高橋 利行
(福島日赤)



相談役
園部 順
(茨城血七)

退任のご挨拶

前中央執行委員長

森 裕子

前中央書記長

市川 清美

私儀、第三十回定期全国大会を機に執行部を退任させて頂くことになりました。

中央の執行委員として、昭和六十二年の定期全国大会にて初めてその任をお任せいただいたのは昨日のことのように、時の流れの速さを感じます。以来この四年間を無事に満喫できました。これは、中央執行委員長をはじめ、各先輩本部役員及び新労各単組の温かいご支援、ご協力の賜と厚く御礼申し上げます。

今後とも新労の一組員として、単組にて本部での経験を生かし頑張ってまいりたいと考えております。

新執行部及び各組員の協力の下に、新労が益々発展することを確信しております。

前中央執行委員

川出 富治

この度、新執行部を頂くことになりました。一言ご挨拶申し上げます。

昭和三十八年四月二十一日、労組と闘いながら新労路線を守り、不肖私が執行部役員に立候補しました。名一単組の協力もあり副執行委員長に選出され、第一回執行委員会にて組織部長という重責を引き受けることになりました。これが私の日赤新労との係わりでした。

昭和六十二年四月十二日第九回定期全国大会にて中央執行委員長に推選され、役員として二十七年間の長い間組員の皆様のお力により任務を遂行させていただきました。昭和四十七年人動に追い付き、昭和四十七年人動に追い付き、一時金については追い越し、現在に至っています。

私は組合活動中、労使協調の精神にそって話し合いで交渉を進めて参りましたが、一部管理者の独裁に対しては、我々の権利としてストライキも止むを得ないと、果敢行使したこともありました。全百赤、日赤、一人の力は弱くても、組合

新役員です。よろしく！

中央副執行委員長

松本 晃

松本晃氏は昭和四十八年から五十八年まで単組執行委員、昭和五十八年から六十二年まで本部執行委員、その後平成二年まで本部相談役として活躍しておられました。この度、副執行委員長に就任されました。この経験からわかるように数多くの方々の周知の通りで、体力やその基となる食欲でも右に出る者はありません。

中央執行委員

梅村 正一

名古屋第二赤十字病院労組より自信をもって梅村正一を中央へ推薦いたします。忙しい職場の中において多くの患者さんからも慕われ、理学療法士の職務に専念し、院内に交渉、抗議又は提案等、労使が共に発展しようとする姿勢は、我々組員に

北から南から 創立十周年を迎えて

飯山日赤職組

飯山日赤職組は、昭和五十六年四月に結成され、今年で満十年を迎えるに至った。これに先立ち、昨年十月十三日創立十周年記念式典が行われた。

有村先生が講演

平成元年三月の定期大会で実行委員会が承認され、委員長以下七名の委員で毎月一回、無い知恵を出し合いなんとか開催に漕ぎつけたわけである。しかしこれまでの道程は長く「記念式典」でどうやってやるの? から始まった。会議は、資料を揃えるにつれてなんと方向らしきものを見いだしていった。



飯山日赤職組10周年記念式典

今、その力を当病院にとまならず広く中央に発信し、全国の新労組員にも信頼され、更に期待されることと思えます。

新労が発展することは、我々の職場の発展にもつながります。そのための方として、我が単組より梅村正一を中央にその信頼に委ねるべく、名二組員(中央執行委員)としても出てはどうか?との提言があり、協議の結果、推薦を受けることになりました。

中央執行委員

増井 富雄

今までに単組の執行委員、書記長、副執行委員長の職を経験しています。

会計監査委員

三折 武志

昭和四十一年に当院に入社

縮めくは、青山中央執行委員長に万歳三喝をしていただき、それに続いて宇田委員長の方慮返しで幕を閉じたのである。

組合活動歴は副組長三回、執行委員一回。大きい声と声に衣を着せぬ話し方は他の者を圧倒する勢いで、時々羽目を外す場面もありますが、何事にも熱狂する熱血漢であります。

一男一女の父。奥さんは血液センターに勤務されています。(岡山日赤徒組)